

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【計画】

堺市立東陶器小学校
校長 渡邊 耕太

中学校区におけるめざす子ども像

○「将来をみすえ、自ら学習できる子」 ○自分のよさを知り、人とつながり協働する子 ○ゆめの実現に向かって粘り強く取り組み、活力ある生活を送れる子

令和8年度 重点目標

・**学校教育目標** 「自分大好き 友だち大好き 学校大好き」子どもの育成に向け、①授業改善による学力と自己肯定感の向上 ②豊かな心と健やかな体の育成 ③地域に開かれた「信頼される学校」をめざした取組の推進

「確かな学び」の現状

教科全般に、個別の知識・技能の習得に終始せず、見方・考え方の育成をめざした学習指導を展開しているが、学び（学び方や学んだ内容）の蓄積が少ないために、課題に向き合うことがむずかしい児童も一定程度存在する。

学力調査等結果からは国語・理科等で子どもが自ら問いを立て追究する「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化した実践において学び方を身につけつつあることはわかるが、めざす資質・能力の育成には実践の改善が必要である。

問題解決的な学習の仕方や学習への手ごたえに関する学力調査等の質問については、肯定的に回答した児童の割合が8割弱あり、校内研修の成果が表れているが、学年が上がるにつれて数値が低下する傾向にある。

「豊かな心・健やかな体」の現状

地域の方々から「子どもたちの顔がとても穏やかになり、挨拶ができる子が多くなった」との声を聞いている。これは、全教職員が「受け止め」「認め」「ほめる」言葉を効果的に使って授業等を行うとともに、子どもの人権に配慮する意識をもって全ての教育活動を行い、子どもとの信頼関係を築いているからである。今後はさらに困り感のある全ての子どもを適切に「ケア」する体制の確立が必要である。

体力テスト等の結果からは、全国平均を越えている種目や越えていない種目がある。運動を楽しみながら体力を身につけられる体育授業等の工夫により、体力向上や運動習慣の形成が必要である。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～1月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	知識・技能の習得と思考力等の育成	各学年で身につけるべき資質・能力や見方・考え方を明らかにし、基礎基本の確実な習得を図る。	めあてをもち、知識・技能を習得するまで行なう繰り返し学習の充実	単元末テスト等で基礎・基本の学習内容の定着がみられる	単元末テスト 全国学力・学習状況調査等の調査結果	毎月 11月			
		子どもが自ら課題を設定し解決に向かう探究の学び(学び方、学んだ内容)を育成する。	●個々の出発点から学びを始め、自ら考えを表し、交流し、振り返って学びを実感できる学習の展開の充実	自力解決してノートに記入する子が8割。説明できる子が5割。	ノート、タブレットの記述	毎学期			
		そのために授業改善を進める。	生活、総合的な学習の時間において、自ら課題を設定、調べ、まとめ、発表する探究の学習の充実	課題設定からまとめ・表現に至る探究の学びがみられる子が5割	ノートの記述	毎学期			
確かな学び	学習意欲向上、家庭学習充実	低学年からの家庭学習の習慣をつけるための取組と、思いや考えを粘り強く表そうとする力や態度をつけるための取組を進める。	●タブレット活用を含めた「書く活動」の充実と教員の赤ペン指導による考えを言葉で表す習慣づくり	思いや考えを粘り強く言葉で表そうとする態度を有する児童が8割	タブレットやノートの記述	毎学期			
			タブレット活用を含めた家庭学習の量や質の向上や「考える」「調べる」自主学习ノートの実施	自主学习ノートの記述内容	ノートの記述	毎学期			
			★中学校区のめざす子ども像の育成に向けた子ども園・小・中学校間での公開授業等の実施	研修や会議を通しためざす子ども像や具体的なたての共有	実施状況	毎学期			
豊かな心・健やかな体	豊かな心の教育の充実	豊かな心、思いやりのある心を育成し、いじめがおこらない集団づくりを行う。	●あいさつの徹底や「陶器っこの約束」の浸透する取組により、規範意識の醸成や思いやりのある子どもを育て、いじめが起らない指導の充実	校内の様々な目標やルールを守ろうとする意識の高揚といじめがおこらない集団	生活アンケート	毎学期			
		すべての教育活動において人権的な視点での見直しと支援を行う。	強い否定や命令口調ではなく、子どもの尊厳に配慮した「温かい言葉」が飛び交う環境づくり	終礼や職員会議での生徒指導の事例の減少	実施状況	毎学期			
		読書活動の充実で心を耕す活動に力を入れる。	読書量増加に向けた学校図書館のさらなる活用	学校図書館の貸し出し冊数の本の増加	貸出記録	年度末			
豊かな心・健やかな体	体力の向上	体育の学習における運動の質と量の向上と学校行事等との関連によって、体力、運動能力を高め、運動習慣を形成する。	体力テストの結果において、昨年度の結果との比較等を行ない課題を把握し、取組を行なう。	反復横跳び等の本校の課題の種目のデータ分析、課題解決取組実施	実施状況	毎学期			
			体育のなわとび単元と学校行事のなわとび大会を運動させるなど、運動の習慣化を進める。	なわとび大会での各学年の記録が昨年度を上回る	実施状況	年度末			
地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信、地域人材ボランティアの活用など、地域との連携を深める。	●地域の人的・物的環境を生かした教育活動の充実	ゲストティーチャーやボランティアの人数の増加	実施状況	年度末			
			本校のホームページを中心とした情報発信の継続と充実	昨年度の発信記事数以上	発信数比較	年度末			

校長より (年度末)

学校関係者評価者から (年度末)